

# 正徳館 だより



県立正徳館高等学校  
長岡市与板町東与板 173  
TEL0258-72-3121  
令和7年12月23日発行

## 教頭より

『二学期を振り返って』

教頭 佐藤 直之

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。今学期の大きな行事を紹介します。

【正徳館フェスティバル】

晴天に恵まれ、最高のコンディションとなりました。生徒が考えたレクリエーション企画や装飾、部活動企画、一年生芸術選択者の発表、キッチンカーが三台、丸山農園の農産物販売、餅つきイベント、きのこ汁販売と盛りだくさんでした。



来校客数は昨年と同数の二百三十三人となりましたが、農産物販売の場所が玄関に変更になったことを考慮すると実質の増加でした。

【キャリアガイダンス】

三年生は各自の就職・進学に向けて理想のキャリアをデザインし、受験してきました。現在、各種出前授業を受講し、社会人としてのスキルを身に付けています。

二年生は十月七日からの三日間、地元企業でインターシップを行いました。労働の厳しさやマナーについて学んだ反面、作業する楽しさも体験しました。修学旅行は、京都・大阪方面二泊三日で海遊館、USJ研修や大阪府内班別研修など行いました。一年生は二回にわたり「与板こども園」で保育実習を行いました。幼児と接することです少し大人になった生徒を

頼もしく思いました。また、与板地区の歴史や文化などを調査し、PR動画の作成を行っています。

正徳館高校は「note」でも情報発信をしています。授業や行事の様子を掲載しています。下の二次元コードを御利用ください。



正徳館note

十一月にはインフルエンザの流行から一年生が三日間の学級閉鎖となりました。感染症対策を行い健康に留意しましょう。

## PTA会長より

『正徳館フェスティバルを終えて』

PTA会長

今年度も十月二十五日に正徳館フェスティバルが無事に開催されました。開催に際しまして、生徒及び教職員の皆様、正徳館高校後援会、がつこうマルシェに御協力を賜りました事業者の皆様、に心から感謝申し上げます。

今年度の正徳館フェスティバルは「和気満々」というテーマにて開催されました。昨年度より全校生徒数は減少しているものの、盛り上がりは昨年を凌ぐものがあつたと感じました。校内のあちこちに装飾が施されており、フォトスポットなどもあり、生徒の皆さんのアイデアは素晴らしいと感じました。ステージでは授業発表やクイズ大会、ビンゴ大会など工夫を凝らしたイベントがあり、大変な盛り上がりを見せていました。また、部活動によるイベントもあり、華道部の生け花展示や茶道部による「橘庵」でのお点前は、日頃の成果を保護者の方や地域の方々知ってもらおう良い機会になったと思います。小体育館では日頃の授業の成果の展示があり、普段なかなか見ることのできない生徒の皆さんの作品を見ることができ良かったと思います。後援会の皆様による杵つき餅イベントは迫力があり、きのこ汁とともに大変美味しくいただきました。

午後には長岡を中心に活動されている、ジョイフルスプリング ゴスペル クワイアの皆様によるゴスペルステージが開催されました。体育館いっぱいに響き渡る歌声はとても素晴らしく、生徒の皆さんと一緒に歌う場面もあり、大変盛り上がりしました。普段なかなか生のゴスペル音楽の歌声を聴く機会は無いと思うので、生徒の皆さんにとって良い経験になったと思います。

今年度の正徳館フェスティバルも大成功に終わりましたが、開催までに企画や準備には三年生を中心に頑張ってきたと思います。三年生はその努力を今後の人生に活かして欲しいと思います。一、二年生は今年の経験を活かして、来年度以降の正徳館フェスティバルをより良いものにして欲しいと思います。



## 特集 正徳館 フェスティバル

(ステージ企画リーダー)

三年生

ステージ企画ではクイズ、ビンゴ、有志発表を行いました。私は早押しクイズのスライド作りと景品の買い出し、当日は全体の司会とクイズのスライド操作、景品渡しを行いました。

計画の段階ではクイズ大会の時間が長いかなと思いましたが、実際にやってみたらちょうどいい長さでした。うまくできたことは景品のお菓子渡しです。その時その時の様子を見つつ、調節して余らずに渡すことができてよかったと思います。



改善点は、それぞれの司会のテンションが低かったことです。司会者がもっとテンションを挙げれば、お客さんをもっと盛り上がったのではないかと思いました。もう一つは、三年生が決めたことが下級生にしっかりと伝わっていないかったです。説明する時は、下級生が理解できるように伝えたいことをまとめておく方がいいと思いました。

フェスティバル全体の感想としては、どの学年も全員がしっかりと動いていて、今年のテーマである「和気藹々」が達成できたと思います。来年はさらによい正徳館フェスティバルにしてほしいと思います。

(フロア企画リーダー)

三年生

私はフェスティバルでフロア企画のリーダーをしました。他学年に意見を出してもらい、それを三年生でまとめました。

準備期間も限られていたもので、いかに楽しくできるかと、いかに早く準備できるかを考えて、サイコロゲーム、チリモン、的当てゲームの三つの企画を立てました。一、二年生にはポスターを作ってもらい、三年生はルールを考えました。ルールは、小さい子どもにもわかるように変えて、どの年齢の人でも楽しめるように設定できたと思うのでよかったです。

悪かった点は、企画が決まってから仮に一度やってみる時間が全然取れず、結局前日に調整することになったので、時間管理が甘かった点です。ですが、本番は小さい子から大人まで楽しんでもらえたと思うので、しっかりと頑張った甲斐があったと思います。

(装飾企画リーダー)

三年生

私は装飾系のリーダーを務めました。装飾係全員をまとめ、飾りつけに使う花や風船の作成の指示を行いました。私自身は企画を紹介する看板を作成しました。

当初の計画と実行の差を比較してみると、花は三年生全員で集まる日に作成したのですが、作る数が多かったのも、本番に間に合わせるにはもっと人数が必要だと思いました。ガーランドと風船の準備は順調に進んでいましたが、私が担当した看板がなかなか書き終わらず、当日ギリギリまで描いていたので、下書きを早めに描けばよかったと思います。計画とは少し違うところもありましたが、無事に校内を飾り付けることができてよかったです。

全体のまとめとして、企画を実現させるには、①計画はおおまかに決めること、②準備は早めに進めること、③説明はチーム全員にわかりやすくすること、④トラブルに

は機転を利かせて素早く対応すること、これらのことが必要だとわかりました。また、チーム全員で協力しあうことの大切さや楽しさに気づくことができました。



(ポスター制作)

二年生

ポスター作成で大変だったことは、「和気藹々」のイメージをどうやって絵で表現するかということです。インターネットで「和気藹々」の意味を調べてみたら、「和やかな雰囲気、人々が仲良く楽しんでいる様子を表す言葉」という意味が出てきました。最初は簡単だと思いまし



たが、いざ下書きを始めたなら全然イメージが湧かなくて、最終的に三枚も下書きを描きました。

工夫したことは、校則に合った髪型にしたことです。最初は漫画チックな感じにしてみましたが、描き終わって見返してみると少し違和感がありました。そこで校則に合わせてほうがしっくりくると思い、ポスターに描いた髪型にしました。

初めて作成を担当して、大変なことも多かったし、自分の描いたポスターを気に入ってもらえるかどうか不安だったけれど、みんなが褒めてくれたので挑戦してよかったと思います。完成するまでに先生方からたくさんアドバイスをいただいたことも私にとってとても貴重な経験になりました。

## (華道部)

### 二年生

今年の正徳館フェスティバルは私たち二年生が最上級生として動く必要があり、責任の重さも感じつつ準備に取り組みました。

作品制作ではこれまで学んできた基本の技術を生かしながら作りました。花材選びでは色や形のバランスを考え、どの組み合わせがよいかを考えながら決めていきました。花を生ける際は、角度や高さをわずかに変えるだけで印象が大きく変わるため、何度も微調整を繰り返し、納得のいく仕上げを目指しました。

展示の配置や後片付けでは、部員全員で協力する場面が多くありました。展示は、個々の作品を並べた時の高さや色のバランス、また通路からの見え方など、空間全体を意識して位置を調整しました。反省点は道具の準備が遅れたり、作業の手順が曖昧で動きが止まったりしたことですが、こうした課題に気づけたことも今回経

験したからこそだと思おうので、大きな収穫だったと感じています。

今回の経験から、技術だけでなく準備の進め方や周りとの連携の重要さなど、多くのことを学ぶことができました。来年は今年以上に完成度の高い展示を創り上げ、華道の魅力をより多くの人に伝えたいと思います。



## (茶道部)

### 三年生

私たち茶道部は正徳館フェスティバルでお点前をしました。この日ために、部員全員で早くから準備を始め、お客様から楽しんでいただけるよう、おもてなしの心で、精一杯練習に励みました。所作やお茶の点て方を完璧に覚えるまで何度も繰り返し練習しました。



前日準備では、会議室に茶室を模した特設ブースを設け、茶器や掛け軸、花を装飾し、季節感あふれる空間を整えました。準備をしながら、このお茶席が、お客様にとって特別な体験になるといいなと感じました。

当日は沢山のお客様に茶道を楽しんでいただくことができました。多くのお客様が見つめる中での点前は大変緊張しましたが、何度も繰り返し練習した成果を披露することができました。

三年生にとって最後のお茶席を無事に終えた時、みんなでの一つのことをやり遂げた充実感と安堵を覚え、また、ご指導くださった先生方、手伝ってくれた後輩の皆さん、ありがとうございました。

## (有志発表)

### 三年生

私は有志発表で、ギター演奏と歌を披露しました。どちらも一年の頃から思い描いていた夢だったので、自分のやりかただったことができてよかったです。ギター演奏の際は、緊張と不安があったけれど、長い間練習してきた成果を見せることができてよかったと思います。

有志発表にあたり、サポートしてくれた家族、先生方、拍手をくれたみんなに感謝しています。また、私が担当していたクイズの作成を手伝ってくれた仲間にもありがとうと伝えたいです。

最後の文化祭で、みんなで盛り上がり、楽しい思い出を作ることができました。文化祭は仲の良い友達と楽しい思い出を作ることができ、学校行事なので、後輩には来年も頑張ってほしいと思います。



## その他 行事等報告

『インターンシップで学んだこと』

二年生

私はインターンシップでスーパーマールイに三日間お世話になりました。この三日間でたくさんのことを経験し、たくさんのことを学びました。そして普段は何気なく通っているスーパーですが、さまざまな工夫がされていることに気づきました。

一つ目は、商品の配列です。ポテトチップスやポップコーンなど、パーティーなどで食べるお菓子が一つのコーナーにまとめてあったり、小さい子が好きなお菓子のそばにおもちやコーナーがあったりしました。他にも柿の種類などのおつまみが置いてある近くにお酒があるなど、買う世代などで配列が分けられていて、とても考えられていると思います。

二つ目は、各商品の並べ方です。賞味期限が古いものを

前に出して、新しいものを奥に入れていくことによって、どこまで賞味期限が新しいかを確認することができ、仕事の効率化につながる工夫がされていました。

私は今回のインターンシップで社会に出る上で大切なことを学びました。それは人と接する時は大きな声で話すとか、物事を効率よく進める方法を考えるということとです。また、今まで学校で教えられてきたことの大切さを改めて学んだ三日間でした。この三日間の経験を活かして、これから先にある受験や就職活動を頑張ろうと思います。



## 『保育実習を振り返って』

一年生

保育実習では、園児のことや保育士の仕事についてたくさんのことを学びました。

園児については、本を読んでいる時に「どれが好き？」と聞くと「これ」といって指さしてくれたたり、風船を渡すと喜んでくれたりしました。また家庭基礎の時間に作ったワッペンを見せると「かわいい」と言って指さしたり、なでたりしてくれました。

保育士の仕事については、園児がおやつを食べているときに業務連絡をしているときや業務連絡をしているとき驚きました。また、遊んでいる物を離さない子に優しく「離してね」と言ったり、お菓子の袋を開けられない子に教えて自分でやらせたりしていました。先生が手を出すのではなく、自分たちでできるようにしているのがすごいと思いました。

保育士の仕事は思ったより大変で、たくさんの子を見ないといけないので、怪我などをしたら大変だと思いました。安全のための工夫や関

わり方を学ぶことができて良かったです。

## 『保育実習を振り返って』

一年生

私たちの班は鬼ごっこと風船タッチをして遊びました。頑張つて準備をしたので、園児たちの反応が楽しみでした。実際に園児と触れ合ってみたら、「だっこして」とか、家族の話をしてくて、とにかく甘えてきたのがとてもかわいかったです。鬼ごっこでは鬼の私たちが疲れるくらい元気いっぱいでした。風船タッチも、とても楽しそうに遊んでくれたので嬉しかったです。



保育士の方々からはいろいろなことを学びました。自分勝手に行動したり、言うことを聞かなかったりする園児達のお世話は大変だけど、園児達は可愛いので癒しになると思いました。最初は面倒くさくて行くのが嫌だったけれど、実際に行ってみたら園児達とはにかく元気いっぱい、一緒に遊んでいた自分もどんどん楽しくなつて、久しぶりにはしゃぎました。事前のおもちやワッペンづくりは難しくて時間がかかったけれど、園児達が楽しんでくれたので、こっぴど嬉しくなりました。すぐに面倒くさがらないで、何事もやってみようと思えた保育実習でした。

## 新生徒会役員

十一月十一日に生徒会役員選挙が実施され、新役員が次のように選出されました。新体制への協力をよろしくお願いします。

会長 二年生  
副会長 二年生